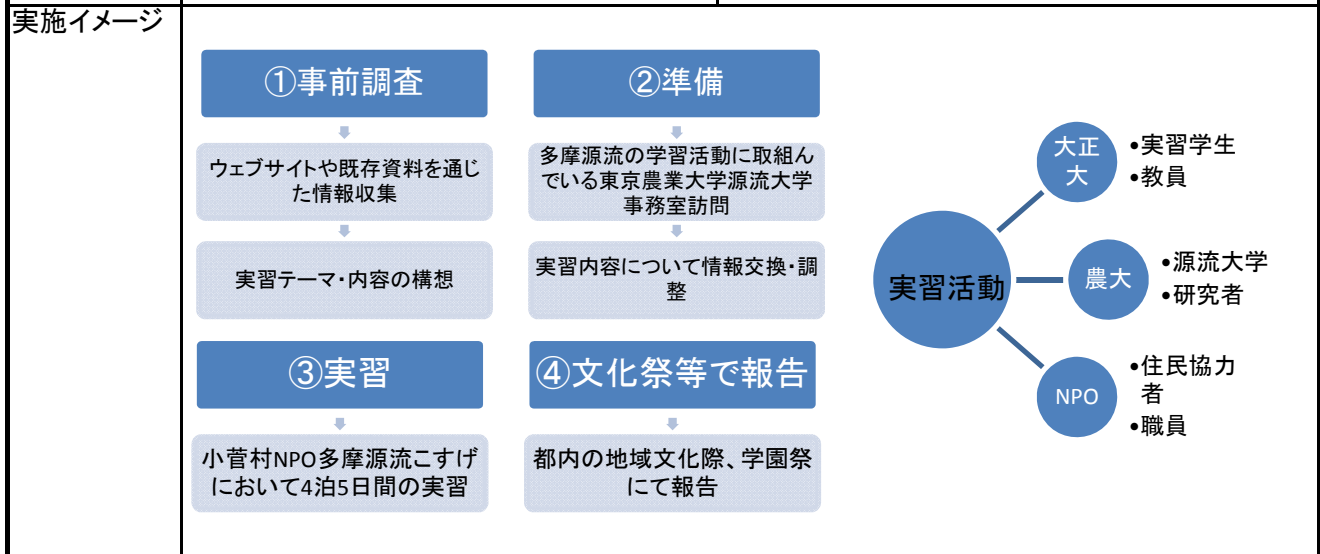


実習先	NPO法人多摩源流こすげ（山梨県小菅村）27年度
目的・テーマ	山村の情報環境と学生参加による地域文化の保全活動と発信を通じた学びの可能性 —小菅村での生涯学習施設実習の経験から—
目的・概要	<p>受講学生・実習先の問題意識・背景・目的等 大学内の授業で地元の社会教育施設を調査し、生涯学習プログラム策定について学んだ。そしてもともと私の地元（東京郊外の都市）の歴史・文化への興味が深く、講義を機により知識を深めたいという気持ちも強かったこともあり、実習候補先から自分の身近な地域から最も近い小菅村を実習地として選択した。</p> <p>概要 山村地域に外部の人間が入り新鮮な目で見学・調査することによって、新たな魅力を見出すこと、その魅力を活用する方法を考えることによりどのような新たな学びを地域の人たちと共に生み出すことができるのか、その可能性を模索する。 小菅村にはNPO法人多摩源流こすげという団体があり、外部の人間も多数参加している。そこにお世話になり、役場などへのヒアリング、インターネットの活用状況、村内の資源・図書館の見学など主に山村地域の情報環境に着目した実習を行った。</p>
分野	教育・福祉・まちづくり
形態・期間・人数	短期集中 1週間×8時間 ・人数1人
方法	見学・観察・調査・参加・体験・ボランティア・AL・SL
プログラム	<p>(事前)</p> <p>事前調査はインターネットでHPの閲覧が中心。データが少なく、またそのデータが古いものだったこともあり、調査は難航した。すでに小菅村にはNPO多摩源流こすげという外部の方々を中心となり、東京農大と連携し外部に村の魅力を発信することも行っている。実習を間近に控えた夏の終わりの時期、実習先とのパイプ役を担ってくれた東京農業大学源流大学事務室を訪れ、連絡先を教えていただき、事前調査の段階で想定された課題や実習項目の概要に報告を行った。</p> <p>(事中)</p> <p>実習は全5日間。 1日目は現地到着NPO法人多摩源流こすげの事務所にて実習内容の相談。食材の買出しなどを行った。 2日目は村役場、NPO法人多摩源流こすげ、小菅村観光協会、商工会を訪問し、ホームページの管理や情報発信のあり方について取材を行った。 3日目は村営図書館、小・中学校図書館の調査、村内散策の散策で写真収集をした。 4日目 観光資源である道の駅周辺の見学を行った。 5日目は観光資源である三つ子山の散策し、現地撤収した。 実習中のある夜、村のヘリポートまで星を観察した。都会では見ることのできない静寂の星空、耳をすませば聞こえる多摩源流の音、都会育ちの私にとってとても感動的で貴重な経験となった。 小菅村は山に囲まれた地形のため、各所に山がありますが、その中の三つ子山からは、村の中心となる集落を一望することが可能だった。</p> <p>(事後)</p> <p>レポートの取りまとめ及び大学祭での研究ブースでの発表を実施。要旨は以下の通り。 小菅村での実習経験から、もし自分が地域の学習支援者としてこの村に外部から入ることになったことを想定したとき、要となるのがやはり学習主体でありまた活動主体である村人との協働であり、共に取り組んでくれる仲間といかに連携していけるかなのだと考えた。実習を通じて地域で学ぶ・活動するための知識やスキルの不足を痛感しその大切さを知った。地域と共に学び地域に寄与する視点を大事にしながら、実習経験を私が目指す図書館司書の学びへも活かしたい。</p>
方法論上の特記事項	他大学連携（東京農業大学多摩川源流大学事務室との連携）、地元NPO法人（多摩源流こすげ）との協働により実習が実現。学生の学びと共に地元の最新の活動への貢献や新たな切り口での展開可能性を探ることを企図するアクティブラーニング型の学習実践を行った。

成果	(学生)	<p>(表、グラフ、数値など定量的成果)</p> <table border="1"> <caption>実習活動を契機とした関連活動数</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>プロジェクト数</th> <th>関係主体</th> <th>招聘と発信</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年	プロジェクト数	関係主体	招聘と発信	2018	3	3	4	2017	2	2	2	2016	1	2	1	2015	0	1	0
	年		プロジェクト数	関係主体	招聘と発信																	
	2018		3	3	4																	
2017	2	2	2																			
2016	1	2	1																			
2015	0	1	0																			
(受入先)	<p>他大学との連携促進(複数大学との協働活動が実現)</p> <p>社会教育との関連調査・研究への展開・波及効果(科研費調査の前段となるデータ収集に寄与)</p>																					
(その他、地域住民、連携先等)	<p>教育・子育てを契機とした移住が増えている傾向があり、本実習もそうした村の魅力の一端に光を当てる側面を有しているものと考えられる。</p>																					



実施主体  
関係情報

多摩川源流大学 <http://genryudaigaku.com/>  
大正大学出川真也研究室 <https://degawaken.com/>